

はなぞの

みなみはなえん
南花園だより
第134号・2024年4月



社会福祉法人 貴陽福祉会 特別養護老人ホーム南花園 松戸市河原塚102-8 TEL 047-392-0881 FAX047-392-0882
特別養護老人ホーム第二南花園 松戸市紙敷1186-8 TEL 047-392-3336 FAX047-392-3366

ショートステイ担当として



特別養護老人ホーム 第二南花園
(介護予防) 短期入所生活介護

担当生活相談員 平野 涼帆

昨年十月一日より、ショートステイ担当の生活相談員として入職させていただきました。平野と申します。

今までは、自立型の施設や予防のデイサービスでの勤務をしてきました関係から、ご利用者様は認知機能の低下など、何か自立して生活する上で障害となるような事があったても、職員が少しお手伝いをさせて頂く事で、ご自分で出来る方も多くみられました。しかし特養では、心身の機能が低下し要介護度が進んだ方も多く、戸惑ったこともありました。身体介護の経験があまりないので、現場の方に教わっておりますが、介護されるご利用者様のお気持ち大切にしながら、介護させて頂く職員の思いも大切にして、勉強させていただきます。と思っています。

相談業務では、色々な事情で困っている方々の相談を受けさせていただきます。ご家族様

が直接施設にいられてのご相談をはじめ、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターからの依頼も含めて相談内容は様々で、それぞれの事情に応じたサービス提供をしていきたいと思っています。そのためには、ご利用者様の相談に寄り添って話を聞き、相手の事情に踏み込み過ぎないように配慮しながら、施設としてできるサービスや情報を誠実に伝えられるようになりたいと思っています。

また、ショートステイサービスは一つの職種だけでは成り立たず、生活相談員も介護サービスに携わるスタッフとして、介護職員、他の担当者と協力し合い、情報の共有をしていきたいと思っています。情報の共有を徹底することで、いろいろな視点からの意見や、サービス提供への見落としなどを発見することができ、より良いサービス提供ができるのではないかと考えています。

ご本人様が安心・安全に過ごして頂くことができ、ご家族様の負担が少しでも軽減できるサービス提供ができるよう努めます。そのためには、ご利用者様、ご家族様、ケアマネージャー様、また現場との良い関係を築き、信頼していただけるような相談員になれるよう努めていきたいと存じます。



こんな行事もありました

3/27 中庭昼食会

桜はまだ咲いてませんでした... とても暑かったですが
外で食べる食事はいつもと違い皆様笑顔あふれていました。
今回はデイの利用者様と一緒に食べて一段と盛り上がりました



3/1 雑祭り



平音会の皆様に来園していただき
お琴を演奏して下さいました。
皆様お琴の音色に
うっとりされてました



令和六年能登半島地震に伴う 福祉施設における介護職員等の派遣

生活相談員 松山 栄子

今年の正月早々に能登半島地震があり、厚生労働省からの依頼で三月十一日〜十五日で、石川県金沢市の15避難所（輪島市・珠洲市の要介護者と家族）の介護をして参りましたが、相変らずライフラインが整って
いなかったのよかったです。

誰もが予想だになかった地震や津波が来て誰もが被災者になってしまったと聞く。東日本の時と違い介護場面での不安が増長、不安を抱えている避難者で一杯でした。自分なりに何か出来ないかと感じ、利用者の思いを聞き出したと思えました。「ケアマネに会いたい、自分達は何処に行けば良いんだ」と少し怒りを表現されてました。この状況であっても避難先であり、支援者も避難している等、行政もストップしている現実が見えました。高齢者率も高く、手続きを含み手が回らない。メイン会場はほぼ自立者、サブ会場には障害者も含み、要介護者への家族支援が必要でした。マルチ会場は既に移動されて閉鎖されてました。断水は特にきつく、集団感染のリスクが高まる。利用者への食事の提供では、当たり前の温かい飲み物や汁物等の提供確保は出来ていません。普通の生活がどれ程幸せな事かと痛感した避難所の介護派遣ではありましたが。私の行先での旅先の思い出の写真が、避難者の心を癒したようです。皆様は輪島の門前町の大本山總持寺祖院が倒壊したのを見聞きし涙ぐんでおられました。きつと心の拠り所だったのでしょうか。

- ①一回でも笑顔を多く作る！
 - ②「今」を失わせない！
 - ③「今」出来る事を精一杯する！
- 医療チームの連携、支援者チームの連携を充実させ、避難者が安心・安全な環境を整える事を皆で考えて行きましょう。



南花園便り

こんな行事もありました

2/3 豆まき



3/20 お彼岸供養



誕生会



茶道



風景

2/6大雪



降りましたね!!



3/20 三重の虹



3/6 防災訓練



南花園今後の予定

※感染症等発生時には行事の見直しを行う場合があります。

- 5月
 - しょうが湯
 - 茶道(野点)
 - 喫茶コーナー
- 6月
 - 誕生会
 - レク大会
- 7月
 - 防災訓練
 - 喫茶コーナー
- その他
 - 散髪(毎週火曜日)

新入職員紹介

私たちは新たな希望を胸に頑張りますのでよろしくお願ひします

南花園



特養介護員(特定技能)
ダルフスレン
ウーリン ツオルモン



管理栄養士
飯塚 亜希子

第二南花園便り

春を楽しむ【お花見&花まつり】



3月末～4月上旬にかけて 順番にお花見に出かけました
4/8には立正佼成会様のご協力のもと 花まつりの行事が出来ました



3/17 お彼岸供養



今回も2階の仏間にて お彼岸供養を行いました
希望者のみの自由参加ですが、多くの方が
お線香をあげて 手を合わせていらっしゃいました



みんなの広場



第二南花園便り



2/15 豆まき [ユニット型]



ユニット型特養とショートステイフロアでは 遅ればせながら
2月中旬に豆まきを行いました 当てやすいようにと
新聞紙を丸めた物を用意しました 良い運動になったようです



2/27 レクリエーション [従来型]

時々食堂で行っている
色々な レクリエーション
今回はビーボールを
使ったゲームを行いました



4/7 音楽療法



コロナ前に行っていた音楽療法を
今年度より復活させました
今回より 南花園と同じ
遠藤先生が来て下さることに
なり 第1・3日曜日の午前中に行います



第三南花園今後の予定

- ※感染症等の予防の為、
国の方針に従い、行事
を見直す場合があります。
- 5月
 - 鯉のぼり見学
 - 菖蒲湯
 - 誕生会
 - ゆいの花公園散策
 - 6月
 - 防災訓練
 - 普通救命講習
 - 誕生会
 - 7月
 - 七夕見学
 - かき氷大会
 - 誕生会
 - その他
 - 音楽療法 (第一・三・日曜日)
 - 散髪(毎週水曜日)
 - 移動図書(月一回)



● プランナー
小林 あかり



● 多機能コーディネーター
川名 遼

【東部高齢者いきいき安心センター】



● 介護員
エンフリーパー
エンフマンライ



● 介護員
佐藤 敦子



● 介護員
アマンゲルド
アイジャン



● 介護員
岡田 ラリーサ

【第二南花園
ユニット型特別養護老人ホーム】



● 介護員
ダシゼバグ
アンハ エルデネ

【第二南花園
従来型特別養護老人ホーム】

私たちは新たな希望を胸に
頑張りますので よろしく
お願いします

新入職員紹介

デイサービス便り

デイサービスで働いて



介護員 野口 信子

私は、デイサービスセンター南花園で勤務を始めて今年で十一年目になります。

出身は青森県で、十八歳で上京しバスガイドの仕事をしていましたが、結婚を機に松戸に住み、介護の資格を取得し、こちらで働かせて頂いております。

介護の仕事は、最初は何もわからず、不安な気持ちでいっぱいでしたが、優しい上司や同僚の指導のおかげでここまで仕事を続けられることができています。

デイサービスの仕事は、朝・夕の送迎、入浴介助、レクリエーションの進行などで、特にレクリエーションは、利用者の皆様が楽しく参加してくださり、笑い声や笑顔が見られて、私のやりがいとなっています。

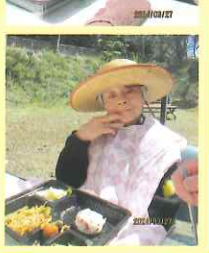
今後も利用者の皆様に寄り添い、「楽しかった。また来るよ!」と言って頂けるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

こんな行事もありました

誕生会



園庭ランチ



矢切の渡しゲーム



だるまさんはシツゴ



うなぎ釣り



鬼は外・福は内

節分

毎年恒例の節分レクでは、鬼的的に玉を投げて、倒した絵の点数の合計で一位を競うゲームを行いました。高得点のおかめや福豆の絵を、運よく当てた利用者様は笑顔で喜ばれていました。最後に大きな鬼の面に向かい「鬼は外!! 福は内!!」と声を合わせて豆まきをし、一年の厄除けとご多幸を祈願して頂きました。

明かりを付けましょ

ひな祭り&個人作品

春の個人作品では、雛人形のリースを作って頂きました。リングにお内裏様とお雛様の絵とお花を自由に飾り付けて完成です。

レクは、雛あられに見立てたカラーボールの重さを当てるゲームをしました。くじで引いた重さになるように、ひし餅風の箱に入れてもらい、重さを測ると、ピタリと当てられた方もいて、大変盛り上がりしました!!



書初め



ゲートボール



ボッチャ



競馬ゲーム



バウンドゲーム

永年勤続表彰

30年

《常勤》
長谷川 立憲 特養副主任介護員

20年

《常勤》
横堀 裕美 特養介護員
渡邊 芽久美 デイ介護員
《非常勤》
館野 ひろみ デイ介護員

15年

《常勤》
湯本 幸恵 特養介護員
《非常勤》
岩佐 好子 特養介護員

10年

《常勤》
宮田 彰文 特養副主任介護員
小林 由美 特養副主任介護員
堀 晶子 特養介護員
寒川 裕佳 特養介護員
本間 美加 事務員
佐藤 正江 調理員
《非常勤》
古川 恵子 デイ生活相談員

5年

《常勤》
佐藤 清子 管理栄養士
《非常勤》
戸辺 好枝 調理員補助
飯沼 春江 調理員補助



後列左から 宮田・佐藤(正)・渡邊・長谷川・横堀・寒川
前列左から 古川・堀・小林・館野・湯本・佐藤(清)・飯沼・戸辺・本間

昇格4/1付

南花園

平島 愛子 デイ主任生活相談員
長谷川立憲 特養副主任介護員
小林 由美 特養副主任介護員

資格取得 介護福祉士

南花園

寒川 裕佳 特養介護員
山本 美波 デイ介護員
バトバートル ザヤ 特養特定技能介護員
グエン ティハー 特養特定技能介護員
包 雨欣 特養特定技能介護員

第一南花園

矢野 達也 従来型特養介護員
月田 幸子 従来型特養介護員
中村 順子 ユニット型非常勤介護員

東部高齢者いきいき安心センター
(東部地域包括支援センター)

2月より多機能コーディネーターが入职しました!

多機能コーディネーターとは、令和五年度より地域包括支援センターに配置されたこととなった職種です。「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」を基本理念にサービス提供体制の充実や高齢者の社会参加を促進できる地域づくりを促進します。

《多機能コーディネーターってどんなことをしているの?》

- 多機能コーディネーターは、大きく分けて
- ・生活支援コーディネーター
- ・認知症地域支援推進員
- ・就労的活動支援コーディネーターの3つの役割があります。

生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)

地域の声を聞き、居場所づくりやサロン・カフェの立ち上げ支援、ボランティアとのマッチングなど生活上の困りごとの解決やよりよい生活を送るための地域づくりを支援します。最近では、買い物困難な地域の移動手段の確保(グリス口活用支援)も取り組みの一つになります。

認知症地域支援推進員

定期訪問や継続的な見守り活動等を通して、認知症の方の地域での暮らしを支える手伝いをします。認知症の方が地域において生きがいを持って生活が送れるよう、居場所づくりなど社会参加活動のための活動も役割となります。認知症当事者のみではなく、介護者のつどいの開催等を通してご家族の支援も行います。

就労的活動支援コーディネーター

高齢者の特性や希望に応じた就労的活動をボランティア、就労、地域活動などの事業者・団体とマッチングし、高齢者の介護予防や社会参加の促進のための場の提供を行います。



貴陽福祉会のHP 紹介

貴陽福祉会のホームページを是非ご覧ください。要望・お気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。(スマホでも閲覧可能です。) 検索は「南花園」で。HPアドレスは
[\[https://www.kiyou.or.jp\]](https://www.kiyou.or.jp) です。



今日も元気
 いっぱいです

保育室便り



介護職員随時募集中!!
 一緒に働きませんか?



人として人間らしく生きるために
 佛教心をもって伴にくらしましよう

編集後記

令和六年度が始まりました。今年度は三年に一度の介護報酬改定が行われ、それに合わせた新たな取り組みも始まっています。新たな仲間を迎える事でも、第二南花園では面会要件の緩和を行っており、暗い話題の多かったこの数年の中で、少し明るい兆しが見え始めたように思います。
 今年度もどうぞよろしく願っています。

今昔生活雑記帳 二十一
 (江戸の旅食事情十二) 勝手コラム

三天難所「中山峠は怖い場所? その二」
 新年度となりまして東海道中食の旅は続きます。やっとの思いで大井川は渡れましたが、今度は五十三次、箱根・鈴鹿に並ぶ三大難所「小夜の中山」峠越えです。

歌川広重の浮世絵では画面左から右側に弓を引き絞ったように急峻な山道が延びており、底には大きな丸石が鎮座し、峠から望む空には山々が見えております。なんと峠を越えようと日坂宿で、小さな宿場ですが本陣と脇本陣が一つずつあり、特産は碁石とわらび餅・子育て館で、山中にて質素な名物です。日坂宿は現在の静岡県掛川市にあり、近隣の粟ヶ岳裾野にはソメイヨシノや様々な山桜が咲き誇り、今も昔も旅人の目を惹きつけています。

ところで、絵にある丸石は「夜泣石」と言う名があり、謂れは、昔ある妊婦が日坂から金谷宿の夫を訪ねてこの峠に差し掛かった時、その丸石の脇で具合が悪くなり動けない所を山賊に襲われ亡くなってしまう。切られても赤子は無事でしたが、そのままでは生きられませんが、なんとか助けようと近くにあった大きな丸石に妊婦の魂魄が乗り移り泣いた声が、御仏のお慈悲か山頂にある久延寺に届き、それを聞いた僧侶に赤子は救われます。女人禁制の寺で育てる為、お乳の替わりに館で育てた事から、「子育て館」として名物になったとの伝承で、赤子が育ち立派な若者となり山賊を仇討ちすると言う後日談も。どんな館かと言うと、原材料はもち米と大麦で、深いオレンジ色の透明な美しい水飴です。今でも小夜の中山名物として味わう事が出来ます。又、この峠が出てくる怪談もあります、それは次回のお楽しみに!!